

株式会社メイワ

2013年度環境活動レポート
(対象期間：2013年4月～2014年3月)



作成日：2014年5月10日

□ごあいさつ

当社は「アイデアとテクノロジーの融合」を目指し、冷熱事業、自動機事業の2つの柱で、品質管理を重視し、開発を続けてきました。徹底したニーズ志向で、時代の要求に応える製品づくりに努めています。

社訓である「個性を尊重し、特徴ある企業に高めよう」「豊かな人間関係、生活の向上を目指し社会に貢献しよう」を達成するため、常に環境の保全を意識し、環境に配慮した製品づくりを行い、豊かな循環型社会の構築に貢献します。

株式会社メイワ

代表取締役 高橋 正和

環境方針

<基本理念>

わが株式会社メイワは、地球環境の保護・保全・改善が人類共通の最重要課題であることを深く認識します。

当社が行う事業活動において、全社一丸となって地球温暖化の防止、資源循環の促進ならびに環境への汚染節に努める活動を実施します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 当社の全事業活動において、環境影響を考慮し、環境負荷の低減に努めます。
 - ② この環境改善活動は、継続的に実施し、廃棄物の削減、汚染予防、及び省資源・省エネルギーに努めます。
 - ③ 環境にやさしい製品の開発、製造に努めます。
 - ④ 環境改善への取組は、全従業員へ周知させるとともに、公表し、誰もが当社の取り組みを閲覧できるようにします。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日：2007年10月1日

代表取締役社長
高橋 正和

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社メイワ

代表取締役社長 高橋 正和

(2) 所在地

本社・本社工場 和歌山県紀の川市長田中345-1

和歌山工場 和歌山県和歌山市島86-1

東京営業所 東京都港区芝1-11-16 ニチリンビル3階

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務グループ グループマネージャー 岡 徳治 TEL: 0736-73-7300

担当者 総務グループ 岡井 延彦 TEL: 0736-73-7300

(4) 事業内容

機械器具製造業 主要製品：圧力容器、熱交換器、冷凍機器、自動包装機械 他

(5) 事業の規模

製品出荷額 39億63百万円（2013年度実績）

	本社	和歌山工場	東京営業所
従業員	125名	14名	—
延べ床面積	9987.2	1257	51.57

(6) 事業年度 2013年4月～2014年3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社メイワ
本社・本社工場
和歌山工場
東京営業所

対象外： なし

活動： 機械器具の製造

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年	2013年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	630,392	617,118
廃棄物排出量	kg	119,118	123,055
一般廃棄物量排出量	kg	24,050	31,510
産業廃棄物排出量	kg	95,068	91,545
総排水量	m ³	15,375	12,815

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目		年度	基準値	2013年		2014年	2015年
			(基準度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂		400,892	396,883	387,636	394,878	392,874
	基準年比	(2012年)		99.0%	96.7%	98.5%	98.0%
LPGの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂		177,435	175,660	172,931	174,773	173,886
	基準年比	(2012年)		99.0%	97.5%	98.5%	98.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂		41,889	41,470	49,389	41,261	41,051
	基準年比	(2012年)		99.0%	117.9%	98.5%	98.0%
一般廃棄物の削減	kg		24,050	23,810	31,510	23,689	23,569
	基準年比	(2012年)		99.0%	131.0%	98.5%	98.0%
可燃廃棄物の削減	kg		3,145	3,114	3,301	3,098	3,082
	基準年比	(2012年)		99.0%	105.0%	98.5%	98.0%
廃油・汚泥の削減	kg		9,210	9,118	4,660	9,072	9,026
	基準年比	(2012年)		99.0%	50.6%	98.5%	98.0%
廃プラスチックの削減	kg		2,540	2,515	2,740	2,502	2,489
	基準年比	(2012年)		99.0%	107.9%	98.5%	98.0%
節水	m ³		15,401	15,247	12,932	15,170	15,093
	基準年比	(2012年)		99.0%	84.0%	98.5%	98.0%
グリーン購入	購入率		38.1%	実態把握	38.1%	39.0%	40.0%
		(2013年)		把握完了		102.4%	105.0%

※化学物質については、生産と連動しているため、削減対象と出来ないため、適正管理に努めます。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	○	継続	目標は達成だが、下期に入り電気使用量が増加している。次年度の取り組みは本年度の内容を引き継ぐとともに、省エネ空調の導入等を行いたい。
・昼休みの消灯	○	継続	
・空気圧縮機のエア漏れ点検・修理	◎	継続	
・不使用時のパソコン電源OFF	△	継続	
LPGによる二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		
・低温塗装化	○	継続	低温塗装に切り換えた事により、LPG使用量削減に成功。次年度も継続する。
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×		
・エコドライブ	○	継続	生産量増加及び資材配送車を1台増やした事もあり、計画未達。来期は効率的な営業を推進し、目標達成を目指す。
・効率的なルートで配送	△	継続	
・積載オーバーをしない	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	×		
・分別の徹底	△	継続	新機種製造開始及び生産量増加により、廃段ボール類が増加。来期は通箱化を進め、搬送ダンボールの削減を目指す。
・裏紙使用の徹底	○	継続	
・古紙のリサイクル化	○	継続	
産業廃棄物 (可燃廃棄物) の削減			
数値目標	×		
・分別ボックスの設置	○	継続	生産量増加に伴い、廃棄物も増加。来期は更に分別を推進する。
産業廃棄物 (廃油・汚泥) の削減			
数値目標	○		
・工程ロスの削減	○		効率的な塗装を推進し、更なる削減を目指す。
産業廃棄物 (廃プラ) の削減			
数値目標	×		
・発生量の抑制	△		樹脂加工の効率化を行い、排出量を削減する。
節水			
数値目標	○		
・洗浄工程の改善	×		来期は気密検査水の再利用及び自動給水システムの導入を検討する。
・手洗い水量の適正化	△		
グリーン購入			
数値目標	—		
・事務用品グリーン購入比率調査	○		グリーン購入比率の調査終了。来期からは積極的にグリーン購入を行い、比率の向上を目指す。
製品への環境配慮			
数値目標	—		
・新ホームページ開設によるPR	○	終了	新ホームページの開設完了。新機種の開発完了。来期からは売上に注力し、環境製品の出荷を増やす。
・新型機の開発	○	終了	

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法（危険物）	塗料・シンナーの保管
フロン回収破壊法	業務用空調機、エアドライヤ
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

今年度から新たにエコアクション21活動を開始した。

具体的に数値目標を定めることにより、従業員の環境活動に対する意識が向上し、日常業務での環境への負荷低減活動が行われ、着実に成果が出てきている。

この調子でエコアクション21活動を推進し、環境面から社会貢献に努めていく。

□環境活動の紹介

- ・太陽光発電（100kW）を設置し、環境活動に努めています。
- ・工場周辺に緑化地帯を設け、環境に配慮しています。